

会 議 録

会議名	第23回まちづくり委員会		
開催日時	平成21年12月9日(水) 午後7時00分～9時00分		
場 所	消防署小会議室		
出席者 (敬称略)	(委員) 垣内勝司、根橋久子、三堀善業、牛丸喜美子、倉田英勇、原美子、遠藤清文、降旗譽男、赤羽武栄 (町) 宮原(修)、宮原(利)、殿内	出席人数	
		委員	9人
欠席者 (敬称略)	(委員) 小澤一智、山寺恭子、中谷一美、小林代治、熊谷久司	町	3人
		計	12人
会議次第	1. 開 会 2. 委員長あいさつ 3. 協議事項 (1) シンポジウムの開催について 4. その他 5. 閉会		
資 料	(配布資料)		
会議結果	○シンポジウムの開催について検討しました。 ○次回委員会 平成22年1月21日(木) 午後7時00分～		
発言者	発言の内容		
副委員長	開会		
委員長	<p>前回の委員会でシンポジウムを開催する方向付けをしましたので、本日は内容について協議をお願いします。県の地域発元気づくり支援金について県内で779事例がありその内3の事例が非常に素晴らしいという事で先日表彰があったようです。その中で岡谷市の事例が取り上げられており、平成18年の豪雨災害時の団結力をまちづくりに活かそうという事で、始まったようです。地域がまとまって、一つの事業を取り組んでおり、そういったものを勉強する必要があると思います。従来ですと、行政が旗を振り一つのまとまった事業を行っていたが、手作りの内容が協働そのものに活かされるとと思います。</p> <p>先日荒神山の冬のほたるを見てきましたが、大勢の子どもが集まっていました。こうして皆が色々活動する中で、非常に元気があると思います。今後は継続がキーポイントになると思います。</p>		
委員長	その後の打ち合わせの内容について、事務局よりお願いします。		
事務局	前回の会議の中で、シンポジウムを開催し、松本大学の講師に基調講演をお願いすると決定しました。事務局に交渉をするよう話がありましたので、こちらで連絡を取ったところ2月の半ばを過ぎれば大学の講義もひと段落するので、OKとの事です。本日の会議の結果で次のステップに繋がるとと思いますので、引き続き打ち合わせをしたいと思います。		
委員長	前回の会議で土日の昼間で、その中で短い時間で良いので手引書の説明を入れ参加者に認めていただく機会を持てればといった話ができました。日程や、ネーミング、内容について決定していきたいと思います。		

委員長	日程ですが、2月の半ば以降の土曜日という事でいかがですか。20日か27日ですが、いかがですか。町の日程はいかがですか。
事務局	3月になれば議会が始まりますが、良いと思います。
A委員	20日で良いと思います。
委員長	20日（土）で、時間は午後1：00～でいかがですか。
一同	賛同
委員長	前回の会議で時間は1時間半～2時間くらいでという話がでしたが、そのような流れで話を進めていきたいと思います。会場は、町民会館の会議室でいかがですか。
A委員	椅子がよければ第6はいかがですか。
委員長	それでは役場第6会議室を予定したいと思います。
委員長	主題についてはいかがですか。まちづくりそのものでも良いし、具体的な事例を上げるかどうかですが。
委員長	B委員いかがですか。
B委員	内容を詰めてからでいかがですか。
委員長	内容は今までこの委員会で話をしてきた部分と、パネリストの選定をどうするかにもよりますが、それでは考えていただいて次にいきますか。
委員長	主催はどこですかね。
B委員	実行委員会形式でいかがですか。例えばまちづくりシンポジウムといった形で、まちづくりシンポジウム実行委員会のような形にすれば、一番応用も利くと思います。
事務局	役場の職員に対して研修会をという中で、実施できればと思います。
委員長	シンポジウムといった名前で職員が参加しても問題はないですか。
事務局	問題は無いです。
委員長	手引書からいくと協働といった言葉を入れたほうが良いですよ。
A委員	まちづくりであれば協働も含まれると思いますが、何か前置きを入れた方が良いと思います。
委員長	主催者名はまちづくり委員会が職員の研修にはならないと思います。
事務局	そこは、とくに問題無いと思います。
委員長	そうしますと先程話が出た実行委員会形式が良いですか。
C委員	主催にこだわらずに、区長会や町の職員組合に後援いただき、できるだけ大勢の方に参加いただけるような開催形態が取ればと思います。協働というと抵抗を持つ部分もあるので、辰野町を活性化する為のシンポジウムやフォーラムにしていけばと思います。
委員長	主催が無しという事にはできないので、協賛なりでもよいとは思いますが。
C委員	まちづくり委員会主催で他の団体に協賛していただいて開催すれば良いと思います。委員長が発案者でもあると思いますので。
委員長	私も副案がある訳ではないので。B委員から実行委員会はどうかと話があったので、皆に諮っただけです。違う形があればそれでも良いと思います。
C委員	主催はあくまでまちづくり委員会にして、その中で協賛団体を募り、実行委員会の組織が必要であれば作ればよい話で、実行委員会を表面に出さなくても良いと思います。
委員長	それでは、具体的にいかがいたしますか。
委員長	それとも主催等こだわらず、各種団体に参加いただくということにしますか。
B委員	主催はあった方が良いでしょう、実行委員会形式で行うか、まちづくり委員会で行うかですが。

委員長	D委員さん今のご意見に対していかがですか。
D委員	この委員会は、今後どこを目指すのかによると思います。シンポジウムを開催して終わりなのか、その先まで何か行うのかによると思います。
委員長	3月までで委員会は行います。
D委員	どこまで、行えば目的が達成になりますか。
委員長	決まっていません。
D委員	シンポジウムをやるのであれば、推進委員会を立ち上げ部会を作り、段階的に進んでいかないといけないと思います。まちづくりの達成は町と一緒に評価を行わなければと思います。
委員長	指針の引継ぎの部分に手引書の作成と評価システムを作る2点があります。手引書は完成したので、評価はどうするかという議論です。
D委員	そこに進んでいくためのシンポジウムなのか、それによって会の持ち方が変わると思います。
委員長	我々が評価できるデータが無く、委員会として評価する事は良い事を認める事だと思います。私はこのように思います。
D委員	推進委員会を立ち上げるまで持つていく目的で行うということであれば、それなりに考え等ありますが、そこまで行わなければとくに会の名称も定まりません。
委員長	まちづくり委員会はそれに進んでいくようにはなっておりません。我々には町長の冒頭の挨拶で第5次の計画に結びつくようになればといった希望的な発言がありましたが、データもありませんし諮問も受けていないので、手引書と評価の2点で職員も参加して欲しいと記載がありますが、実際事務局としての参加だけで職員の参加はありません。
D委員	集大成の意味でシンポジウムを行うのであれば、まちづくり委員会が主になって行えば良いと思います。その結果を見て、次に進めればと思います。今回の場合はできるだけ多方面声をかけて行えればと思います。
委員長	まちづくり委員会主催でよいですね。
D委員	協力団体を募り大勢を集めて、第6なり町民会館大会議室で行えればと思います。
委員長	E委員いかがですか。
E委員	まちづくり委員会で良いと思います。
委員長	F委員いかがですか。
F委員	まちづくり委員会でやるべきだと思います。手引書の集大成といった気がしますので、良いかと思います。
委員長	それでは、主催はまちづくり委員会ということでよろしく申し上げます。各種団体については皆さん所属の団体に参加いただければと思いますので、よろしく申し上げます。パネラーはどこに依頼すれば良いですか。
E委員	講師の基調講演は決定ですか。題目については、向こうから連絡が来ますか。
委員長	内容を決めてお願いできればと思います。
事務局	この委員会で大まかなテーマを決めてお願いをしたいと思います。
E委員	協働についてといったテーマを漠然とお願いするより、もう少し絞った方が良いとお思います。

C委員	元気な地域づくりが先生のテーマになっているのでそれで良いかと発言しました。
委員長	活性化というよりも、元気な地域づくりといったテーマの方が良いと思います。
E委員	講師と発表者の内容についてどのようなやりとりを行いますかね。
C委員	内容はどうしますか。
委員長	フォーラムは、あるテーマに持っていく為に、質問のやりとりを行う方式ですが。
C委員	前回の話では基調講演をした後に事例発表をいくつかするという話でしたが、今委員長が言うのは基調講演に対してパネラーを決めて討議をして纏めるということですが、その方式で行うということですか。
委員長	やり取りをせず、事例発表を単独的にすると、講演が浮き上がる事があります。両方の資料をぶつけあってコーディネートしていただく方式が良いと思います。
C委員	前回決めた事例発表を止めるということですか。事例発表という形式をとらず、予め決定したパネラーが自分達の事例を発表して、それに対して先生がアドバイスをして纏めていくような方式で行うのですか。
委員長	会場の皆さんとの質問などのやり取りも多少あると思いますが、それはコーディネーターに決めていただきます。
C委員	パネルディスカッション方式にするのか、会場の皆さんに意見を聴くのかははっきり決めないといけないと思います。まずシンポジウムをどのような方式で行うのか決めましょう。
委員長	それは、コーディネーターに任せます。
D委員	それでは事例発表は行うわけですね。
委員長	事例発表は行います。
D委員	一般論の協働のまちづくりではなく、辰野町の実地的で取り組みやすいものを選定して、それに対して先生にアドバイスをしていただくような講演に結び付けていき、その後、質問するときには、事例と講演がかみ合っている中で質問を受けるということですね。まず辰野の事例を挙げて先生にお願いしていけばと思います。
委員長	そうですね。例として小野の振興会で実施した中で、良かった点や反省点地域の要望がたくさんあると思います。
D委員	町を見ていて比較的川島・小野・沢底地区は昔の自治会が残っていますが、平出は6地区ありその内の3地区が250戸程度あり中々協働のまちづくりが進まなく難しい部分があり、私個人としてはそういうものも出せればと思います。
委員長	空論や理想論でなく、実際に活動しているところを発表していただきコーディネートしていただければと思います。最終の詰めは先生に委員会にきていただきお話をお聞きする事も一つだと思います。発表者に発表内容の事前に資料を送って調整すればと思います。
事務局	本来であれば手引書を広める為のシンポジウムという事で始まった事ですが、この手引書の中に色々な事例があるので、そういった部分を引き出していただければと思います。今の状況では、住民の皆さんに配布して終わりになっているので、多少は絡めた中で行わなければと思います。

事務局	先程話の出た2通りの方法のどちらの方法で行うか決めなければと思います。先生の元気な地域づくりについて講演いただき、その後コーディネートしていただくスタイルで良いですか。
F委員	事例発表はおそらく成功例だけになると思いますが、上手く進んでいないところへのアドバイスをお願いしたいと思います。今後のまちづくりに繋がるような内容になればと私は思います。
委員長	失敗例は、手を出さないで失敗している例が多いので難しい部分があります。
F委員	皆に分かりやすく、即実践できるものになりたいと思います。
B委員	一つは、基調講演があり事例発表があり、発表者と講師先生によるディスカッションを行うのが、一番無難な方法だと思います。もう一つは、事例発表で手引書に出ている団体は一つ入れ、区主体の事例・市民団体での事例と他に一つで3団体程度発表していただければと思います。
D委員	単純にパンフレットに載っている事例で、先生に基調講演をお願いしていかなければと思います。パンフレットに基づいて行えばと思います。
E委員	先生にお願いすれば、ある程度決めていただければと思います。
委員長	事例を上手く纏めていただければと思います。
副委員長	基調講演の後にすぐにディスカッションに入り、一人の方が10分程連続で話すのではないということですね。
委員長	そうですね。
B委員	やり取りの中で引き出すという事ですね。確かにその方が、聴く側からすれば聴きやすいと思います。
C委員	委員長が言うのは一般的に言うパネルディスカッション方式ですよ。事例発表とは意味合いがかなり違ってきますよね。
委員長	内容は事例発表です。討論会ではないですね。一般の方が質問する時間は取れないと思います。聞くとしてもパネラーが少し質問する程度だと思います。
C委員	パネラーの選定が難しいですね。
委員長	パネラーはどこにお願いしますか。手引書に載っている団体で、両小野地区振興会や沢底はいかがですか。
B委員	防災研究会は、いかがですか。
C委員	大花見会など実施している団体はいかがですか。
委員長	いくつか候補を挙げたいと思います。
A委員	先程いった上手くいかなかった団体も出ていただいてご指導いただき、きっかけになればと思います。
B委員	大変だったことや、課題をお聞きしていただければと思います。パネラーとのやり取りの中で、発表していただければ説得力があると思います。
副委員長	支援金を使用している団体だけでなく、それ以外の団体も出ていただければと思います。
委員長	ほとんどの団体は何かしら交付があります。
D委員	壮年で平出の泥地フラッグの団体は補助等受けずに実践しています。
委員長	沢底・両小野振興会・防災研究会・ひとまちこん・泥地フラッグにあたっていただければと思います。

委員長	職員も並列的に参加した方が良いと思いますが、パネリストと言わないですが、何らかの形で参加できればと思います。住民の意識と職員の意識が変わらないとまちづくりにならないのでいかがですか。
C委員	主催者として、委員長かまちづくり政策課長が出ていただければと思います。
事務局	パネリストとしてですか。
C委員	大概こういった問題は行政サイドからも出ています。
G委員	委員会が主催なので、委員長が出ていただければと思います。
委員長	良いところを認めていただき、苦労点も発表いただき、行政や地域が応援するようにもっていければと思います。
委員長	参加団体は4団体程度でよろしいでしょうか。正副委員長と事務局と講師で事前に一度打ち合わせを行いたいと思います。
事務局	パネラーの方達が自分の団体の事例を発表するのか、テーマに基づいて意見を言うのかどちらでしょうか。
B委員	コーディネーターが質問することに対して答えていただいたほうがわかり易いと思います。
事務局	4団体が何を事例として実行したか、分かった上でパネラーのやり取りになると思います。テーマに対してパネラーが自分の意見を述べるような形式であれば、分かりますが、ある程度内容が分かっているとやり取りは難しいと思います。
B委員	講師とのやり取りの前にある程度内容が見えていないと分からないということですね。
委員長	質問事項を事前に投げかけて置いて、それに沿ったやり取りを行えばと思います。以前依頼した時もそうでした。
事務局	こちらの意図をある程度伝えないと難しいと思います。
C委員	今言われたとおりの心配があるので、元気な地域づくりについて基調講演いただき、地域づくりの事例を発表した後、アドバイスや質問のやり取りをしていただくような形に持っていければと思います。
委員長	コーディネーターが初めてのところで時間内に纏めることが難しい部分があります。レポートを基にコーディネーターが構成して流れを作っていただいた方が良いと思います。
C委員	協働や元気なまちづくりは、短時間で結論を得られる問題ではないので、事例を発表して、動機付けができれば良いと思います。
委員長	成功、不成功の評価ではなく、事例が分かれば良いと思います。
C委員	すべて事前に用意すると、面白みに欠けると思います。
委員長	出てきた方に恥をかかせてはいけないと思いますので、事前のものも必要だと思います。やり取りはある程度講師にお任せすれば良いと思います。
副委員長	私は、C委員が言った方法だと思っていましたが、皆さんに委員長が言った方法とどちらが良いか問いかけが無いのでどうですか。
委員長	私が経験した中では、先程話をしたような形で進めて非常に分かりやすかったです。ディスカッションやフォーラムは質問時間がなくなる部分があります。手法はある程度任せるといいと思います。

B委員	事例発表をしてからでなく、コーディネーターと発表者とのやり取りの事例を引き出していくという事だと思います。事前のレポートに沿って、紹介をする中で引き出していくという事ですね。
委員長	そうですね。
A委員	発表者・聴衆者からも新しいスタイルで新鮮ですし、効果も有ると思います。
B委員	私はいい方法だと思いますが、副委員長さんの言うように他の方の意見はいかがですか。
E委員	私達や区長さんや行政の皆さんは、そのスタイルの方が新鮮だと思いますが、興味を持ってきていただいた方たちにとって、事例発表の方が分かりやすい部分もあると思いますので、両方の意見が分かります。
A委員	そのように実施いただけるとは思います。
B委員	ただ説明を聞くよりは、対話の中での発表の方が分かり易いと思います。基調講演も1人の方が話し、事例発表も1人の方が話すのではなく、対話にする事によって変化があり分かり易いと思います。
委員長	私も青年会議所のシンポジウムを見たことがありますが、とても良い物でした。
B委員	内容が分かりにくければ、映像を使って視覚的に理解していただく方法もあります。
委員長	活動内容をA4一枚程度で、紹介として作成しても良いとおもいます。
B委員	チラシに団体の紹介を載せても良いですね。
E委員	意思表示をした方が良いですか。
G委員	心配な部分も有るようですので、今年中に一度打合せを行ったほうが良いと思います。
委員長	先生との打合せはすぐにでも対応していただきます。活動事例について他地区で見本にさせていただくような形で考えだけは、はっきりさせたいと思いますがいかがですか。
F委員	成功例ばかりを発表して萎縮してしまうより、失敗例の発表により感化されるような内容にしなければとおもいます。講演会の成功だけでなく、今後のまちづくりの成功を目指していかなければいけないと思います。
委員長	今のところ、沢底、両小野、ひとまちこん、防災研究会、ビーチフラッグの5団体による発表と、委員長が何かの形で説明等できればと思います。
C委員	委員長の考えていることは、大体分かりましたが、主要なテーマは事前に考えたほうが良いと思います。討論の主要なテーマを絞っていかねばと思います。
委員長	それが、コーディネーターの仕事だと思いますので、お願いします。
C委員	テーマくらいは、こちらで提案しても良いと思います。
委員長	コーディネーターの意向で何かあれば、各種団体へ働きかけていくという事で、こちらとしてお願いは特にしないで、基本的にコーディネーターにお願いするという事にします。
C委員	少なくとも、そういう考えを持っていなければ今の人選の意図もはっきりしないと
委員長	実際の活動を中心にお話していただくという事となります。
E委員	C委員が心配されている事は、講師が実際ビジョンを持ってコーディネーターとして引き出して欲しいという部分だと思います。
D委員	区でも支援金事業を行っていますが、最初は良いが、継続することによるメンテや維持管理が大変な問題になっています。新しい事に手を出すことも良いが、失敗例の発表も有ると思います。
委員長	大筋は決まりましたので、今年中には講師と正副委員長、事務局により下打ち合わせを行いたいと思いますのでお願いします。

委員長	次回委員会は1月21日（木）午後7時からお願いします。
事務局	今の話をまとめると、3団体くらいに実例をレポート提出いただき、コーディネーターに、引き出していただき進めるという解釈でよろしいでしょうか。 次の委員会の前に5団体から3団体に絞り、それをもとに依頼をしていかなければいけないと思いますが、事前に正副委員長と事務局とで打合せをしてよろしいでしょうか。松本大学講師に確認する中で、3団体の事例を含めた内容で講演をお願いするということでもよろしいでしょうか。
B委員	講演に3団体の事例を含めていただかなくても良いとおもいます。講師の考えでの講演で良いと思います。
事務局	講演の内容は講師に任せるということでもよろしいですね。それでは、この内容を基に正副委員長と事務局で有る程度決めてよろしいですか。
一同	賛同
委員長	本日の決定事項は、平成22年2月20日（土）午後1：00～、会場は第六会議室 or 町民会館大会議室、まちづくり委員会が中心で行う、パネラーは3団体で講師にコーディネートしていただき、まちづくりの推進の為大勢の参加をいただくという事と
事務局	第5次総合計画策定に向けた作業を今年度より開催しており、今年度中に基本構想を策定する為、審議委員を募集しております。また、12月22日（火）午後7：00～住民会議を開催いたします。将来の町について夢を語っていただくような会になり、意見を基本構想に反映していきたいと思っておりますので、大勢のご参加をお願いします。また、参加できる方は、事前にご連絡いただければと思います。
副委員長	閉会